

信州大学

平成 30 年度学生募集要項

推薦入試



**SHINSHU
UNIVERSITY**

信州大学「入学者受入れの方針」

信州大学は、真理への探究心とチャレンジ精神を培い、高度な専門知識と深い思索力を基にして、課題を探究し解決する能力を備えるとともに、豊かな人間性と広い視野をもち、身につけた知識や技術を人類文化と社会の持続的発展に役立て、世界の平和と自然環境の保全のために活かすことのできる、意欲あふれる若者を育てることを教育の目標にしています。したがって、この教育を受けるために必要な高等学校修了段階の基礎学力を有する人を求めています。

大学入学までに履修すべき教科・科目

在籍する高等学校等が、学習指導要領に従って定める教育課程表に沿って、履修するすべての教科・科目について、十分に履修し、相応の学力を身につけていることが望まれます。また、志望する学部や学科ごとに、入学後の授業内容を理解するために履修が必要な教科・科目が示されている場合は、それらの科目の内容を十分に理解していることが望まれます。

個人情報の利用

信州大学における入学者選抜を通して取得した個人情報については、入学者選抜のほか、次の目的のために利用します。

- 入学手続
- 学籍管理
- 学習指導
- 学生支援関係業務
- 入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究
- 出身学校長への合否の通知

なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。

また、国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため、推薦入試の合格及び入学手続等に関する情報を、大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。

この「学生募集要項」は、入学手続が完了するまで大切に保管してください。

目 次

I 各学部に通ずる項目

(手続きの流れ, 方法)

1. 実施する学部・学科等及び募集人員	2
2. 各学部・学科の出願資格及び推薦要件概要	3
3. 入学者選抜日程の概要	4
4. 出願手続	5
5. 合格発表	8
6. 入学手続	8
7. 一般入試への出願	9
8. 障害等のある方の事前相談	9
9. 入試情報の開示	10
10. その他	11

II 学部別の項目

(各学部入学者受入れの方針, 出願資格・推薦要件, 選抜方法及び期日等)

1. 教育学部	12
2. 経法学部	16
3. 医学部医学科 (長野県内枠推薦入試)	19
4. 医学部保健学科 (看護学専攻, 検査技術科学専攻, 作業療法学専攻)	22
5. 医学部保健学科 (理学療法学専攻)	24
6. 工学部	26
7. 農学部	29
8. 繊維学部	31

III 志願票の記入例等

IV 出願書類等のダウンロードについて

V 各学部試験場案内

教育学部・経法学部・医学部・工学部	38
農学部・繊維学部	39

I 各学部に通ずる項目

入学定員の一部について、高等学校（この募集要項において、「高等学校」には「中等教育学校」、「特別支援学校の高等部」及び我が国の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして文部科学大臣が認定又は指定した「在外教育施設」を含むものとし、これらの学校の長を「学校長」といいます。）の長からの推薦に基づき、大学入試センター試験及び個別学力検査を課さない「推薦入試Ⅰ」と、大学入試センター試験を課し、個別学力検査を課さない「推薦入試Ⅱ」を実施します。

※ 国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合又は課さない場合を含めて）への出願は、一つの大学・学部に限ります。

1. 実施する学部・学科等及び募集人員

学 部	学 科 ・ 課 程 ・ コー ス ・ 専 攻		募 集 人 員		入 学 定 員
			推 薦 入 試 Ⅰ センター試験を課さない	推 薦 入 試 Ⅱ センター試験を課す	
教 育 学 部	学校教育教員養成課程	現代教育コース	10		240
		野外教育コース	4		
		国語教育コース	4		
		英語教育コース	6		
		社会科教育コース	6		
		数学教育コース	4		
		理科教育コース	5		
		音楽教育コース	3		
		図画工作・美術教育コース	2		
		保健体育コース	3		
		ものづくり・技術教育コース	2		
		家庭科教育コース	2		
		特別支援教育コース	5		
		心理支援教育コース			
	計		56		240
経 法 学 部	応用経済学科		20		100
	総合法律学科		20		80
	計		40		180
医 学 部	医学科			(①15, ②5) 20	115
	保健学科	看護学専攻	10		70
		検査技術科学専攻	5		37
		理学療法学専攻		2	18
		作業療法学専攻	2		18
		小計	17	2	143
	計		17	22	263
工 学 部	物質化学科		(1) 8		95
	電子情報システム工学科		(6) 30		170
	水環境・土木工学科		(1) 8		60
	機械システム工学科		(3) 15		100
	建築学科		(1) 1		60
	計		(12) 62		485
農 学 部	農学生命科学科	生命機能科学コース	8		170
		動物資源生命科学コース	8		
		植物資源科学コース	8		
		森林・環境共生学コース	8		
	計		32		170
繊 維 学 部	先進繊維・感性工学科		(2) 20		65
	機械・ロボット学科		6		60
	化学・材料学科		(1) 15		105
	応用生物科学科		12		50
	計		(3) 53		280

※ 推薦入試Ⅰの（ ）内は、高等学校の職業教育を主とする学科（繊維学部化学・材料学科については工業に関する学科）対象の募集人員を内数で示したものです。

※ 医学部医学科の（ ）内は、推薦要件毎の募集人員を内数で示したものです。

※ 推薦入試の合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を前期日程の募集人員に加えます。

※ 人文学部、理学部、教育学部心理支援教育コースは推薦入試を実施しません。

2. 各学部・学科の出願資格及び推薦要件概要

推薦要件の詳細につきましては、各学部の「出願資格及び推薦要件」をご覧ください。

学部	推薦要件区分	センター試験	推薦できる 人数上限		募集枠 ※3	出願資格及び推薦要件		
						卒業（見込）年月	評定・成績	資格・ 課外活動
教育学部	①	免除	各コース 1名	合計 13名 ①+②	—	平成28年4月 ～ 平成30年3月	評定平均値 4.0以上	無
	② (※1)	免除	各コース 1名		県内のみ	平成29年4月 ～ 平成30年3月	評定平均値 4.0以上	無
経法学部	—	免除	制限なし		—	～平成30年3月 までに卒業	一部要件有 (評定平均値 4.0以上)	一部 要件有
医学部	医学科①	5教科 7科目	4名 (又は5名 ※2)		県内のみ	平成29年4月 ～ 平成30年3月	学習成績概評 ㊤又はA段階	無
	医学科②	5教科 7科目	2名 (又は3名 ※2)		県内のみ	平成28年4月 ～ 平成29年3月	学習成績概評 ㊤又はA段階	無
	保健学科 看護学専攻 検査技術科学専攻 作業療法学専攻	免除	各専攻1名		—	平成29年4月 ～ 平成30年3月	評定平均値 4.0以上	無
	保健学科 理学療法学専攻	5教科 7科目	1名		—	平成29年4月 ～ 平成30年3月	評定平均値 4.0以上	無
工学部	—	免除	制限なし		職業有 ※4	平成28年4月 ～ 平成30年3月	優秀な方	一部 要件有
農学部	—	免除	制限なし		—	平成28年4月 ～ 平成30年3月	評定平均値 4.0以上	無
繊維学部	—	免除	制限なし		職業有	平成28年4月 ～ 平成30年3月	優れている方	無

※1 教育学部推薦要件区分②は、①での推薦があるコースについて、追加1名の推薦をすることができる要件です。

詳細は13ページ「1. 教育学部（2）出願資格及び推薦要件」を参照してください。

※2 医学部医学科の推薦人数上限は、前年度推薦入試の合格者数により変動します。

詳細は19ページ「3. 医学部医学科（長野県内枠推薦入試）（2）趣旨・出願資格及び推薦要件」を参照してください。

※3 募集枠欄表記の意味については、次の通りです。

「県内のみ」：長野県内高等学校の推薦のみを対象としています。

「職業有」：高等学校の職業教育を主とする学科対象の募集人員枠があります（人数については、左ページ「1. 実施する学部・学科等及び募集人員」をご覧ください。）。

「—」：特定地域及び特定学科を対象とした募集枠はありません。

※4 工学部建築学科は職業学科枠のみの募集で一般枠はありません。

3. 入学者選抜日程の概要

区分	学部・学科	出願期間	選抜期日	大学入試センター試験	合格発表	入学手続	入学式
推薦Ⅰ	教育学部 (除:心理支援教育コース)	11月1日(水) ～ 11月7日(火)	11月23日(木)	→	12月8日(金) 14時	12月11日(月) ～ 12月15日(金)	4月4日(水)
	経法学部		11月18日(土) 又は 11月19日(日)	→	11月22日(水) 15時	11月24日(金) ～ 12月1日(金)	
	医学部 保健学科 看護学専攻 検査技術科学専攻 作業療法学専攻		11月18日(土)	→	12月7日(木) 10時	12月11日(月) ～ 12月15日(金)	
	工学部			→	11月30日(木) 16時	12月1日(金) ～ 12月14日(木)	
	農学部			→	11月28日(火) 10時	11月29日(水) ～ 12月6日(水)	
	繊維学部			→	12月1日(金) 10時	12月4日(月) ～ 12月12日(火)	
推薦Ⅱ	医学部 医学科	11月27日(月) ～ 12月1日(金)	12月8日(金)	→	2月2日(金) 15時	2月5日(月) ～ 2月14日(水)	
	医学部 保健学科 理学療法学専攻	11月1日(水) ～ 11月7日(火)	11月18日(土)	→	2月6日(火) 10時	2月7日(水) ～ 2月14日(水)	

4. 出願手続

(1) 出願期間及び提出先・問い合わせ先

学 部	出 願 期 間	提出先・問い合わせ先
教 育 学 部	平成 29 年 11 月 1 日 (水) ～ 11 月 7 日 (火) (17 時まで に 必 着)	信州大学教育学部入試事務室 〒380-8544 長野市西長野 6 の 口 TEL 026-238-4044
経 法 学 部	平成 29 年 11 月 1 日 (水) ～ 11 月 7 日 (火) (17 時まで に 必 着)	信州大学経法学部入試事務室 〒390-8621 松本市旭 3-1-1 TEL 0263-37-3312
医 学 部 医 学 科	平成 29 年 11 月 27 日 (月) ～ 12 月 1 日 (金) (17 時まで に 必 着)	信州大学医学部医学科入試事務室 〒390-8621 松本市旭 3-1-1 TEL 0263-37-3419
医学部保健学科	平成 29 年 11 月 1 日 (水) ～ 11 月 7 日 (火) (17 時まで に 必 着)	信州大学医学部保健学科入試事務室 〒390-8621 松本市旭 3-1-1 TEL 0263-37-2357
工 学 部	平成 29 年 11 月 1 日 (水) ～ 11 月 7 日 (火) (消印有効)	信州大学工学部入試事務室 〒380-8553 長野市若里 4-17-1 TEL 026-269-5055
農 学 部	平成 29 年 11 月 1 日 (水) ～ 11 月 7 日 (火) (消印有効)	信州大学農学部入試事務室 〒399-4598 上伊那郡南箕輪村 8304 TEL 0265-77-1310
織 維 学 部	平成 29 年 11 月 1 日 (水) ～ 11 月 7 日 (火) (消印有効)	信州大学繊維学部入試事務室 〒386-8567 上田市常田 3-15-1 TEL 0268-21-5310

(2) 出願方法等

「この募集要項に添付する封筒」又は「各自で用意した封筒(角形 2 号(24cm×33.2cm))の表に出願用宛名用紙(信州大学ホームページからダウンロードし必要事項を記入したもの)を貼ったもの」に出願書類等を一括して入れ、下表のとおり郵送してください。

学 部	志願者が送付	学校長がまとめて送付
教育学部	不可	出願書類等が入った封筒を学校長に提出し、学校長はそれらを一括して、別に用意した封筒に入れ、「出願書類在中(卒業見込み○名、既卒○名)」と朱書きのうえ、簡易書留速達郵便で郵送してください。
経 法 学 部 医 学 部 工 学 部 農 学 部 織 維 学 部	出願書類等が入った封筒を簡易書留速達郵便で郵送してください。	出身学校を経て提出する場合、教育学部と同様の方法で提出先別に郵送してください。

※ 出願は、**原則郵送**とします。ただし、郵送による出願が難しい場合は、土曜日、日曜日及び祝日を除く平日の 8 時 30 分から 17 時までの持参による出願を受け付けます。

※ 各学部とも、出願手続を完了した方には、受験票等を送付します。

※ 選抜期日の 5 日前(経法学部のみ 3 日前)になっても受験票等が到着しないときは、出願手続を行った学部の入試事務室に問い合わせてください。

(3) 出願書類等

入学志願者は、次の書類等を取り揃えて出願期間内に手続してください。

なお、「要：ダウンロード」と記載されている書類は信州大学ホームページ（入試情報／資料請求）より、出願書類をダウンロードのうえ作成してください。ダウンロード方法等の詳細は、36 ページ「Ⅳ 出願書類等のダウンロードについて」をご覧ください。

出願書類等		提出該当学部等	摘 要
1	入学志願票 (大学所定書式)	全 学 部	所定の書式に必要事項を記入してください。 ※ 大学入試センター試験を課す推薦入試に出願する方は、出願時には平成 30 年度大学入試センター試験成績請求票が未着であるので、成績請求票を貼り付けず提出し、後日、成績請求票を郵送にて提出してください。 なお、提出期限は平成 29 年 12 月 22 日(必着)とします。
2	受験票・写真票 (大学所定書式)	全 学 部	出願前 3 か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向き、背景なしの写真（縦 4 cm×横 3 cm、白黒・カラーは問いません。裏面に氏名を記入してください。）を指定欄に貼ってください。 試験場において不審をもたれないように眼鏡・髪型等に注意してください。 受験票、写真票とも同じ写真を使用してください。
3	調 査 書	全 学 部	学校長が文部科学省の定めた様式により作成のうえ、厳封してください。
4	推 薦 書 (大学所定書式)	全 学 部	学校長が所定の書式により作成のうえ、厳封してください（必ず両面印刷で作成してください。）。
5	入学検定料 納付確認書 (A 票) (大学所定書式)	全 学 部	① 入学検定料 17,000 円を所定書式の振込依頼書（C 票）を使用して金融機関から「電信扱い」で振り込んでください。振込みには別途振込手数料が必要です。 なお、郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込みはできません。 また、A T M（現金自動預支払機）、携帯電話及びパソコンからの振込みは行わないでください。 ② 振込み後、納付確認書（A 票）及び領収書（B 票）を受け取り、A 票、B 票の所定欄に金融機関の収納印があることを確認し、納付確認書（A 票）を提出してください。 また、「取扱金融機関収納印」欄に、出願期間最終日までの収納印があるものに限り有効となりますので、特に出願期間最終日に振り込む場合には、金融機関の窓口での受付時間を確認のうえ行ってください。 ③ 出願期間最終日に持参により提出する方で、金融機関の窓口業務取扱時間内に振込みができなかった方に限り、現金による納付を受け付けます。 ④ 各学部の振込期間は下記のとおりです。 教育学部・経法学部・医学部保健学科・工学部・農学部・繊維学部： 平成 29 年 10 月 25 日(水)～11 月 7 日(火) 医学部医学科： 平成 29 年 11 月 20 日(月)～12 月 1 日(金)
6	受験票等 送付用封筒 (大学所定書式)	全 学 部	「所定の封筒」又は「各自で用意した封筒(長形 3 号(12cm×23.5cm))の表に受験票等送付用宛名用紙(ホームページからダウンロードし必要事項を記入したもの)を貼ったもの」に、372 円分の切手（速達料を含みます。）を貼付してください。
7	ラベル票 (合格通知書 等送付用)	全 学 部	所定の書式に志願者の日本国内の郵便番号、住所、氏名を記入してください。
8	志望理由書	○ 教育学部 ○ 医学部保健学科 (検査技術科学専攻) (理学療法学専攻) (作業療法学専攻) ○ 工 学 部 ○ 農 学 部	所定の書式に記入してください。

9	推薦理由書 (推薦要件②) 追加様式	教育学部 (推薦要件②)	教育学部志願者で出願資格及び推薦要件の②に該当する方を推薦する場合は、所定の書式を用いて、学校長が作成したものを添付してください。 (要：ダウンロード)
10	活動調書 (野外教育コース)	教育学部 (野外教育コース)	所定の書式を用いて学校長が作成したもの。 なお、成績等を証明する資料を必ず添付してください。(活動調書の「記入上の注意」を参照してください。) (要：ダウンロード)
11	音楽実技検査 受験曲目届	教育学部 (音楽教育コース)	所定の書式に入学志願者が記入してください。 (要：ダウンロード)
12	声楽伴奏用 楽譜	教育学部 (音楽教育コース)	各ページ A4 判の屏風型簡易製本した楽譜の最初のページ左上に、氏名を明記してください。提出された楽譜は返却いたしません。 また、提出後の楽譜の差し替えはできません。
13	活動調書 (美術・工芸制作に関する調査)	教育学部 (図画工作・美術教育コース)	活動調書 A 及び活動調書 B (資料) の所定の書式 (A 3 サイズ) を用いて学校長が作成したもの。 (要：ダウンロード)
14	活動調書 (保健体育コース)	教育学部 (保健体育コース)	所定の書式を用いて学校長が作成したもの。 なお、成績等を証明する資料を必ず添付してください。(活動調書裏面の「記入上の注意」を参照してください。) (要：ダウンロード)
15	自己申告書	経法学部	所定の書式に必要事項を記入してください。 (要：ダウンロード)
16	実績証明書類	経法学部	出願資格 (b) ～ (f) に該当する方又は高等学校を卒業した方は、所定の添付用紙に証明書類を添付して、必ず提出してください。 (要：ダウンロード)
17	志願理由書	医学部医学科	所定の書式に記入してください。 (要：ダウンロード)
18	意向調査書	医学部医学科	所定の書式に記入してください。 (要：ダウンロード)

- ※ 手書きの際は黒か青のボールペン又はインクを用いて記入してください。
- ※ 出願書類を信州大学ホームページからダウンロードし、作成する場合は 36 ページ「Ⅳ 出願書類等のダウンロードについて」を参照の上作成してください。
- ※ 誤って記入した場合は、訂正箇所を二重線で消してください。
- ※ 各出願書類の※印欄は記入しないでください。

(4) 出願に際しての注意事項

- ① 国公立大学・学部(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除きます。以下同じ。)の推薦入試(大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて)に出願することができるのは、一つの大学・学部のみです。
- ② 出願書類等に不備があるものは、受理しません。
- ③ 受理した出願書類等の記載内容及び志望学科・コース・専攻等の変更は認めません。
- ④ 受理した出願書類等及び検定料は、どのような理由があってもお返しできません。
なお、検定料を誤って二重に振り込んだ場合又は振り込んだが本学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合は、本人の請求により納入された検定料(二重に振り込んだ場合は重複して納入された分)の返還が可能です。返還手続については、本学のホームページ(入学検定料返還手続)をご覧ください。(http://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/return.html)
- ⑤ 出願書類等に虚偽の記載があった場合には、入学許可を取り消します。
- ⑥ 出願書類等の提出後、受信場所を変更した場合は、速やかに出願した学部の入試事務室に届け出てください。

5. 合格発表

学 部	日 時
教 育 学 部	平成29年 12月 8日(金) 14時
経 法 学 部	平成29年 11月 22日(水) 15時
医 学 部 医 学 科	平成30年 2月 2日(金) 15時
医 学 部 保 健 学 科 看護学専攻, 検査技術科学専攻, 作業療法学専攻	平成29年 12月 7日(木) 10時
医学部保健学科 理学療法学専攻	平成30年 2月 6日(火) 10時
工 学 部	平成29年 11月 30日(木) 16時
農 学 部	平成29年 11月 28日(火) 10時
織 維 学 部	平成29年 12月 1日(金) 10時

※ 各学部とも、当該学部構内掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、同日中に合格者に対し合格通知書と入学手続書類を、学校長あてに合否結果文書を発送することで、公式発表とします。(不合格の方には通知しません。)

また、信州大学ホームページ(入試情報ポータル(http://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/))にも合格者受験番号(速報)を掲載します。

なお、電話やメール等による合否の問い合わせには、応じられません。

6. 入学手続

合格者は、下記の入学手続期間内に「銀行振込」により入学料を納入するとともに、原則として「郵送」により必要な書類を提出してください。

なお、詳細については、合格通知書に同封しお知らせしますので、必ずご覧ください。

(1) 入学手続期間

学 部	手 続 期 間
教 育 学 部	平成29年12月11日(月) ~ 12月15日(金)
経 法 学 部	平成29年11月24日(金) ~ 12月 1日(金)
医 学 部 医 学 科	平成30年 2月 5日(月) ~ 2月14日(水)
医 学 部 保 健 学 科 看護学専攻, 検査技術科学専攻, 作業療法学専攻	平成29年12月11日(月) ~ 12月15日(金)
医学部保健学科 理学療法学専攻	平成30年 2月 7日(水) ~ 2月14日(水)
工 学 部	平成29年12月 1日(金) ~ 12月14日(木)
農 学 部	平成29年11月29日(水) ~ 12月 6日(水)
織 維 学 部	平成29年12月 4日(月) ~ 12月12日(火)

※ 締切日 17 時までには必着

(2) 入学手続場所

手続については、5 ページの「(1) 出願期間及び提出先・問い合わせ先」と同様、各学部の入試事務室において行います。

(3) 納付金の納入等

① 初年度納付金(入学料・授業料)の額

入学料 282,000 円

授業料(前・後期) 各 267,900 円〔年額 535,800 円〕

※ 金額は平成29年4月現在のものです。入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。納付金の額及び納付の方法については、合格通知書に同封しお知らせします。

② 既納の入学料は、どのような理由があってもお返しできません。

③ 入学料・授業料の納入が著しく困難な方には、免除制度、徴収猶予制度及び月割分納制度(授業料のみ)がありますので、希望される方は合格通知書に同封される入学料免除・授業料免除等に関する書類をよく読んで願い出てください。

(4) 手続に当たっての注意事項

- ① 入学手続書類を受領したら、速やかに入学手続を行ってください。
- ② それぞれ定められた入学手続締切日までに入学手続を完了しない場合は、本学へ入学する権利を失います。(次項による「入学の辞退」とはみなしません。)
- ③ 入学手続後に特別な事情により入学を辞退する方は、「入学辞退届(本学所定の様式)」を、学校長を経て、平成30年2月14日(水)までに5ページの各学部入試事務室に提出し、本学学長の許可を受けなければなりません。
なお、許可がない場合は本学及び他の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても合格者とはなりません。
- ④ 上記の入学権利喪失及び入学辞退により入学しなかった場合、その事情によっては、翌年度以降当該学校長からの推薦を受理しないことがあります。
- ⑤ 入学手続完了者であっても平成30年3月までに入学資格を満たすことができない方は、入学を許可しません。

7. 一般入試への出願

推薦入試に不合格となった場合に備えて、本学及び他の国公立大学・学部の一般入試の前期日程及び後期日程並びに公立大学の中期日程に出願することができます。なお、本学への出願を希望する方は、一般受験者と同様に大学入試センター試験の所定の教科・科目を受け、「平成30年度信州大学学生募集要項(一般入試)」(平成29年11月に公表予定)に従い、出願手続を行い、本学の各学部で実施する個別学力検査等を受験してください。

8. 障害等のある方の事前相談

この募集要項により本学に入学を志望する方で、障害(別表参照)等のために受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願の前に、下記の事項を記載した書面を提出してください。なお、重度の障害のある方は、できる限り早い時期に相談してください。

※ 書面の様式は問いませんが、本学のホームページ(障害等のある方の事前相談(http://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/consultation.html))から申込様式をダウンロードいただけます。

※ 日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの措置が必要となる場合がありますので、事前に相談してください。

事前相談は障害等のある志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学にあたってより良い方法やあり方を実現するためのもので、障害等のある方の受験や修学を制限するものではありません。

(1) 提出期限

各学部とも願書受付開始日の2週間前まで

(2) 書面に記載する内容

- ① 志願者の氏名、住所、電話番号、出身学校名
- ② 志願学部、学科等(学科等名の後に「推薦入試」と記載してください。)
- ③ 障害等の種類・程度(現に治療中の方は、医師の診断書を添付してください。)
- ④ 受験上の配慮を希望する事項
- ⑤ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑥ 出身学校でとられていた修学上の配慮
- ⑦ 日常生活の状況

(3) 提出先

信州大学学務部入試課

住所：〒390-8621 松本市旭 3-1-1

電話：0263-37-2192

(4) 提出期限後の不慮の事故等による場合の配慮

提出期限後に不慮の事故等により障害等を有することとなった場合は、その際にご相談ください。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害	良い方の目の矯正視力が 0.15 以下のもの、両眼による視野について視能率による損傷率が 90% 以上のもの、その他視覚に関する配慮を必要とするもの
聴 覚 障 害	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のもののうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由	○ 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの ○ 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱	○ 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの ○ 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
発 達 障 害	自閉症スペクトラム障害、自閉症、アスペルガー障害、広汎性発達障害、学習障害、注意欠如・多動性障害等のために配慮を必要とするもの
そ の 他	上記以外で、受験上及び修学上の配慮を必要とする程度のもの

9. 入試情報の開示

(1) 志願者数，受験者数，合格者数，入学者数等

① 開示方法

ホームページ (http://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/)

② 開示時期

平成 30 年 4 月以降

(2) 合格者最高点・最低点及び合格者の平均点等

① 開示学部

教育学部，工学部，農学部及び繊維学部

※ 合格者が 10 名未満の学科・コースについては非開示とします。

※ 経法学部及び医学部は非開示です。

② 開示方法

各学部ホームページ (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/>)

③ 開示時期

平成 30 年 4 月以降

(3) 個人情報

① 開示情報

○ 試験成績

学 部	試験成績開示情報
教 育 学 部	判定ランク
経 法 学 部	面接結果
医 学 部 医 学 科	センター試験の得点と総合判定結果
医 学 部 保 健 学 科 看護学専攻，検査技術科学専攻，作業療法学専攻	判定ランク
医学部保健学科 理学療法学専攻	センター試験の得点，総合点，判定ランク
工 学 部	総合点，判定ランク
農 学 部	総合点，判定ランク
繊 維 学 部	総合点，判定ランク

○ 調査書

客観的事実に係る記録部分のみを開示します。ただし、「特別活動の記録」、「指導上参考となる諸事項」、「総合的な学習の時間の内容・評価」及び「備考」に係る部分を除きます。

② 開示方法

試験成績は、開示請求による郵送を原則とします。

調査書は、窓口での閲覧のみとします。

③ 請求者

原則として受験者本人とします。

④ 請求方法

「入試情報開示請求書」に所要事項を記入し、下記請求先に郵送（又は持参）してください。「入試情報開示請求書」は、本学のホームページ（入試成績等の開示（http://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/indication.html））からダウンロードしてください。

※ 受験者本人であることを確認するとともに、受験番号を照合するため、本学の受験票を必ず添付してください。（コピー不可）

※ 試験成績の郵送を希望する場合は、返信用封筒（長形 3 号（12cm×23.5cm）に郵便番号、住所、氏名を明記し、簡易書留料金を含む 402 円分の切手を貼ったもの）を同封してください。

⑤ 受付期間

平成 30 年 5 月 1 日（火）～ 5 月 31 日（木）

※ 郵送の場合は、5 月 31 日までの消印有効

※ 持参の場合は、8 時 30 分から 17 時までとし、土曜日、日曜日及び祝日は受け付けません。

⑥ 開示時期

平成 30 年 7 月 9 日（月）～8 月 3 日（金）

⑦ 開示請求先

信州大学学務部入試課

住所：〒390-8621 松本市旭 3-1-1

電話：0263-37-3450

10. その他

① 受験票は、入学手続や入試情報開示の際にも必要となりますので、大切に保管してください。

② この学生募集要項について不明な点がある場合は、各学部入試事務室（裏表紙参照）までお問い合わせください。

③ 各学部に関する各種情報については、信州大学ホームページ（学部案内（<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/>））から該当学部のホームページをご覧ください。

④ 信州大学は入学後 1 年間、松本キャンパス（松本市）で 1 年生の課程を履修し、2 年生から教育学部は長野（教育）キャンパス（長野市）、工学部は長野（工学）キャンパス（長野市）、農学部は伊那キャンパス（上伊那郡南箕輪村）、繊維学部は上田キャンパス（上田市）の専門課程にそれぞれ進級します。

なお、経法学部及び医学部は 2 年生に進級後も引き続き、松本キャンパスで修学します。

⑤ 試験前日又は当日に、試験場最寄駅周辺・大学近辺・大学入口付近で、可否電話・電報等の申込受付を行っている者がいますが、これらの行為は本学とは関係ありません。これらのことから生じるトラブルに対して、本学は一切責任を負いませんので、十分注意してください。

Ⅱ 学部別の項目

1. 教育学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/education/>)

(1) 入学者受入れの方針

教育学部では、「臨床の知」の理念のもと、附属学校園と一体となり、教育委員会や諸学校と連携し豊かな人間性と専門知識及び実践的な指導力を身につけた、明日の教育を担う人材の育成を目指しています。そのため本学部では次のような力を備えた学生を求めています。

1. 明日の教育を担う専門的知識や教養を身につけるために高等学校等を卒業するまでに習得する十分な基礎的学力、又はそれに相当する学力
2. 既存の知識を活用しながら自分で考え、判断し、他者と協働して問題を解決していくために不可欠で基本的な思考力や表現力
3. 教育者として子どもに寄り添い、理論と実践を往還させつつ自ら学び、社会の発展に寄与しようとする強い意志

本学部では、上記の素養を持つ学生を選抜するために以下の入学試験を実施します。

なお、教育学部には、現代教育コース、野外教育コース、国語教育コース、英語教育コース、社会科教育コース、数学教育コース、理科教育コース、音楽教育コース、図画工作・美術教育コース、保健体育コース、ものづくり・技術教育コース、家庭科教育コース、特別支援教育コース、心理支援教育コースがあり、入学者の選抜をコースごとに実施します。

これらの各コースで専門性を磨くとともに、小学校の教員を目指す学生には各教科に対する得手、不得手を超えて、各教科にわたる広い教養と確かな学力とを身につけることを求め、中学校・高等学校の教員を目指す学生には各教科の専門的な学力と実践的な指導力とを身につけることを求めています。このため、教育学部では、高等学校等において、それぞれの教科に対する基礎的で確かな学力と専門領域を深めるための学力を身につけておくことを望みます。

【推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない入試）】

推薦入試Ⅰでは、「面接」で本学部教員との対話を通じて1～3の能力を総合的に評価するとともに、コースの特性に対応した「小論文」や「実技」を課し、提出書類の内容も加味して総合的に可否を判定します。

【一般入試（前期日程）】（略），【一般入試（後期日程）】（略），【私費外国人留学生入試】（略）

《入学時までに身につけておくべき教科・科目等》

教科	身につけておくべき内容
国語	国語を的確に理解し、国語で効果的に伝え合うための思考力・判断力・表現力 また、現代文、古文、漢文における確かな知識・理解
地理歴史 公民	社会科(地理、歴史、公民分野)における基礎的な知識、及び多面的・多角的な 見方・考え方
数学	数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B)における基礎的な知識、及び数学的な ものの見方・考え方
理科	理科(物理、化学、生物、地学から2分野以上)における基礎的な知識、及び科 学的なものの見方・考え方
外国語	目的に応じて情報や考えなどを正確に理解したり表現したりする英語によるコミュ ニケーション能力
情報	情報処理における基礎的な知識・技能
家庭	家庭生活全般に関する基礎的な知識・技能に基づいた思考力、判断力、表現力
芸術	芸術(音楽、美術、工芸、書道分野)に関する基礎的な知識・技能、及び表現 力・鑑賞力
保健体育	スポーツや健康に関する基礎的な知識、及び基本的な運動能力

※ ただし、中学校・高等学校の教員を志望する学生には、上表で示されている教科・科目等の内容に加えて、教員免許状取得を希望する教科の内容及びその関連教科・科目等の内容に関する確かな学力を身につけておくことを望みます（例えば、「数学」及び「理科」の教員免許状取得を希望する学生については、「数学Ⅲ」を含めた数学全般の内容に関する専門的な学力を身につけておくことを望みます）。

（２）出願資格及び推薦要件

次の①又は②に該当し、学校長が責任を持って推薦できる方で、合格した場合に入学することを確約できる方とします。

ただし、各学校長が推薦できる人数は、①に該当する方について、各コースにそれぞれ１名、合計１３名以内としますが、②に該当する方を推薦する場合には、合計１３名以内の範囲内であれば、各コースにさらに各１名を推薦できるものとします。

※ ②による推薦は、同一コースへ①により推薦する方がいる場合に限りです。そのコースへ推薦する方が１名のみの場合には、必ず①により推薦してください。１名のみを②により推薦することはできません。

① 次の各号全てに該当する方

- a 高等学校を平成28年4月1日から平成30年3月31日までに、卒業した方又は卒業見込みの方
- b 高等学校における全体の評定平均値が4.0以上の方
- c 教員になるための明確な志望と意欲を有し、その資質・能力を備えている方

② 次の各号全てに該当する方

- a 長野県内にある高等学校（地域キャンパス校は、この号において１校として取扱い、その場合の学校長は、副校長をもって充てる。）を平成30年3月31日までに卒業見込みの方（平成29年4月以降に高等学校を卒業した方を含みます。）
- b 高等学校における全体の評定平均値が4.0以上の方
- c 長野県において、教員となる強い志望と意欲を有し、その資質・能力を備え、学校長が特に責任を持って推薦できる方

（３）募集人員

課程	コース	入学定員	募集人員
学校教育教員養成課程	現代教育コース	240	10
	野外教育コース		4
	国語教育コース		4
	英語教育コース		6
	社会科教育コース		6
	数学教育コース		4
	理科教育コース		5
	音楽教育コース		3
	図画工作・美術教育コース		2
	保健体育コース		3
	ものづくり・技術教育コース		2
	家庭科教育コース		2
	特別支援教育コース		5
	心理支援教育コース		-
計		240	56

(4) 選抜方法

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、出願書類（調査書、推薦書、志望理由書、活動調書（野外教育コース、図画工作・美術教育コース、保健体育コース志願者のみ））及び以下の試験の結果を総合して行います。

課程	コース	試験科目		
		面接	小論文	実技検査
学校教育教員養成課程	現代教育コース	○		
	野外教育コース	○		○
	国語教育コース	○	○	
	英語教育コース	○		
	社会科教育コース	○		
	数学教育コース	○		
	理科教育コース	○		
	音楽教育コース	○		○
	図画工作・美術教育コース	○		
	保健体育コース	○	○	
	ものづくり・技術教育コース	○		
	家庭科教育コース	○		
	特別支援教育コース	○		

① 面接

全コースを対象とし、個別面接、集団面接、あるいはその両方を行います。

② 小論文

国語教育コース及び保健体育コースを対象とします。

③ 実技検査

野外教育コース及び音楽教育コースを対象とします。

1) 野外教育コース実技検査「課題解決能力検査」

課題解決能力検査（内容は当日指示）を行います。

運動に適した服装・体育館用シューズ・グラウンド用シューズ・健康保険証を持参してください。

2) 音楽教育コース実技検査（声楽・器楽）

声楽及び器楽の試験を行います。

「音楽実技検査受験曲目届」にて受験曲の作曲者名、曲目、楽器及び調性を、届け出てください。なお、提出後の曲目、楽器、調性などの変更及び伴奏用楽譜の差し替えはできません。

○ 声楽

次の表から1曲選択して受験してください。

イタリア歌曲	任意の声楽曲を原語・暗譜で歌ってください。ただしオペラ・アリアについては、原調で歌ってください（慣習的に移調が認められている場合を除く。）。
ドイツ歌曲	
日本歌曲	
オペラ・アリア	

○ 器楽

次の表から、1楽器選択して受験してください。

ピアノ	ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのピアノ・ソナタの中から、速度の速い任意の楽章	反復を省略し、暗譜で演奏してください。
管楽器	任意のエチュード又は楽曲	反復を省略し、暗譜で演奏してください。 無伴奏で演奏してください。 楽器を持参してください。 ※ 打楽器はスネアドラムの受験のみ認めます。
弦楽器		
打楽器 (スネアドラム)		

(5) 採点・評価基準

① 面接

面接（全コース）は、個別面接・集団面接により、志望した各コースの学生としての意欲・適性を評価します。

② 小論文

小論文（国語教育コース，保健体育コース）は、与えられた課題を的確に認識する能力，論理的に思考する能力，表現能力等を評価します。

③ 実技検査

野外教育コースは課題解決能力検査をもって評価します。

音楽教育コースは音楽に関する技能及び表現力を評価します。

(6) 合否判定基準

コース	合否判定基準
現代教育コース，英語教育コース，社会科教育コース，数学教育コース，理科教育コース，ものづくり・技術教育コース，家庭科教育コース，特別支援教育コース	調査書・推薦書・志望理由書及び面接の結果を総合して判定します。
野外教育コース	調査書・推薦書・志望理由書・活動調書・面接及び実技検査の結果を総合して判定します。
国語教育コース	調査書・推薦書・志望理由書・面接及び小論文の結果を総合して判定します。
音楽教育コース	調査書・推薦書・志望理由書・面接及び実技検査の結果を総合して判定します。
図画工作・美術教育コース	調査書・推薦書・志望理由書・活動調書及び面接の結果を総合して判定します。
保健体育コース	調査書・推薦書・志望理由書・活動調書・面接及び小論文の結果を総合して判定します。

(7) 選抜期日及び時間

期 日	課程	コ ー ス	試 験 科 目		
			小 論 文	実技検査	面 接
平成 29 年 11 月 23 日(木)	学校教育 教員養成課程	現 代 教 育 コ ー ス	—	—	10:00～
		野 外 教 育 コ ー ス	—	9:00～12:00	13:00～
		国 語 教 育 コ ー ス	10:00～11:30	—	13:00～
		英 語 教 育 コ ー ス	—	—	10:00～
		社 会 科 教 育 コ ー ス	—	—	13:00～
		数 学 教 育 コ ー ス	—	—	13:00～
		理 科 教 育 コ ー ス	—	—	13:00～
		音 楽 教 育 コ ー ス	—	9:00～12:00	13:00～
		図画工作・美術教育コース	—	—	13:00～
		保 健 体 育 コ ー ス	10:00～11:30	—	13:00～
		ものづくり・技術教育コース	—	—	13:00～
		家 庭 科 教 育 コ ー ス	—	—	13:00～
		特 別 支 援 教 育 コ ー ス	—	—	13:00～

※ 受験の際は、受験票を必ず持参してください。

※ 面接は、受験者数によって終了時刻が 17 時以降となることがあります。

※ 面接のみのコースの志願者も、筆記用具を持参してください。

(8) その他

出願については 3～7 ページ，試験場については 38～39 ページ，合格者の発表については 8 ページ，入学手続については 8～9 ページを参照してください。

2. 経法学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/econlaw/>)

(1) 入学者受入れの方針

経法学部は、経済学または法学を体系的に修得した上で、身につけた専門性を現代社会のさまざまな課題の現場で発揮し、課題解決のために能動的に貢献できる人材の育成を目標にしています。そのために高等学校等を卒業するまでに学習するすべての教科と科目についての基礎知識を習得しておくことが必要です。

本学部で学ぶために、高等学校等の各教科については以下のことを十分に身につけておいてください。

1. 高等学校等における学習内容の幅広い理解
2. 社会科学諸分野の基礎となる高等学校等での国語、地理、歴史、公民、英語等の学習内容の深い理解
3. 問題解決に際して、冷静で論理立った考察や、事実の観察、データの分析に基づいて思考できる資質
4. 人口減少、高齢化の進展など、地域が直面する具体的な課題について問題意識を抱き、その解決に取り組む強い意欲
5. 現在社会が直面する様々な不確実性、リスク、価値観や意見の違い、紛争、多様性などにひるまず、これらに積極的に立ち向かうチャレンジ精神
6. 幅広い視野を持ち、様々な学問領域で生み出された成果や研究方法を総合的に取り入れながら真理を探究する姿勢

本学部では、上記の素養を持つ学生を選抜するために以下の入学試験を実施します。

【推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない入試）】

推薦入試では、「口頭試問を含む面接」で本学部教員との対話を通じて1～6の能力を判定するとともに、提出書類の内容を加味して総合的に合否を判定します。

【一般入試（前期日程及び後期日程）】（略）、【私費外国人留学生入試】（略）、【第2年次編入学入試】（略）

《十分な学習が望まれる教科・科目など》

国語	資料を読み解き、考えを表現するとともに他者との円滑なコミュニケーションを図るために、一定の読書量を通して国語の能力を十分身につけておくことが必要です。
地理歴史 公民	社会科学分野の基礎となる科目であり、十分に学ぶとともに、教科書での学びに限定することなく、新聞・ニュース報道等に積極的に接し、経法学部が対象としている社会の諸問題に関心を持つとともに、これらを探究するために必要な基礎学力を身につけてください。
数学	論理的思考の基礎ともなる科目ですので、基本的な内容とその応用力を身につけてください。特に、応用経済学科では経済現象の数理的解析のために必要です。
理科	経法学部が対象としている社会の諸問題を探究するための基礎科目として学んでおいてください。
英語	国語と同様な意味で、国内にとどまらない活動のために、英語の能力も必要です。

(2) 出願資格及び推薦要件

次の①及び②に該当し学校長が責任を持って推薦でき、合格した場合に入学することを確約できる方とします。

なお、学校長が本学部推薦できる人数に制限はありません。

① 高等学校を卒業した方又は平成30年3月31日までに卒業見込みの方

② 大学での経済学（応用経済学科）又は法律学（総合法律学科）の勉学を前提とした明確な将来志望を持ち、例えば、企業組織等のリーダーとして活躍すること、行政組織の中で公共政策の立案運営にたずさわること、また、こうした分野で国際的に活躍することなどをめざす方で、本学部で修学するのに必要な基礎学力と積極的な勉学姿勢を有し、かつ以下推薦要件の（a）～（f）の一つ以上に該当する方

（a）学業成績が優秀な方（全体の評定平均値4.0以上）

- (b) スポーツの全国レベル等の競技会に出場し、優秀な成績をおさめた方 ※1 ※2
- (c) 芸術・文化の分野の全国レベルの発表会に出場し、優秀な成績をおさめた方 ※1 ※2
- (d) (1)〔語学〕実用英語技能検定準1級以上又はその他の外国語の検定試験等でこれと同等の成績(例えば、TOEFL-iBT 79 点以上, TOEFL-PBT 550 点以上, TOEIC L&R (旧 TOEIC テストを含む。) 730 点以上など)
- (2)〔簿記〕日商簿記検定1級又は全経簿記能力検定上級
- (3)〔情報処理〕応用情報技術者(ソフトウェア開発技術者)以上
- (4) 学業に関係の深いその他の資格・検定における上記と同等の成績
- (e) 継続した社会活動での顕著で具体的な実績があり、そのことで広く社会から高い評価を得ている方 ※1 ※3
- (f) その他上記に準ずるような実績や経験を有する方 ※1 ※4

※ 推薦要件(b)～(f)に該当する場合は、実績証明書類(所定様式・要ダウンロード)を提出すること。

- ※1 団体での競技・発表・活動の場合は、その中でどのような貢献をしたかを明記すること。
- ※2 当該競技・活動が、高校生の行うスポーツ・活動としてどの程度定着したものであるかも判定の材料とする。
- ※3 当該社会活動に責任を持つ代表者等の推薦書又は報道等から、その活動が広く社会から高い評価を得ていることが確認できること。
- ※4 当該実績・経験に責任を持つ代表者等の推薦書又は報道等から、その活動が広く社会から高い評価を得ていることが確認できること。

(3) 募集人員

学 科	入学定員	募集人員
応 用 経 済 学 科	100	20
総 合 法 律 学 科	80	20
計	180	40

(4) 選抜方法

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、出願書類(調査書、推薦書、自己申告書、実績証明書類(推薦要件(b)～(f)に該当する方又は高等学校を卒業した方))の内容及び面接(口頭試問)の結果を総合して行います。

※ 面接(口頭試問)は、複数の本学部教員により志願者1人につき30分間程度行います。なお、面接(口頭試問)には、手元に何も携えない状態で臨んでください。

(5) 採点・評価基準

面接(口頭試問)は、志願者の大学での学習に必要な基礎学力の有無を判断し、社会科学に対する適性や能力及び入学の熱意、その他を加味して評価します。

(6) 合否判定基準

調査書、推薦書、自己申告書、その他提出書類及び面接(口頭試問)の結果を総合して判定します。

(7) 選抜期日及び時間

期 日	学科	試 験 科 目
		面接（口頭試問）
平成 29 年 11 月 18 日（土） 又は 平成 29 年 11 月 19 日（日）	全学科	別途通知

※ 受験の際は、受験票を必ず持参してください。

※ 各受験者の面接（口頭試問）日時は、平成 29 年 11 月 15 日（水）までに別途通知します。

※ なお、受験番号と面接日・時間は関係ありません。受験番号が早くても面接順が早いとは限りませんので注意してください。

※ 各学科の志願者が 90 名を超えた場合、選抜期日が 19 日となる場合があります。

(8) その他

① 出願については 3～7 ページ，試験場については 38～39 ページ，合格者の発表については 8 ページ，入学手続については 8～9 ページを参照してください。

② 本学部では、教育職員免許状を取得することはできません。

③ 本学部におけるアクティブラーニング手法を導入した授業では、タッチパネル操作を前提とします。学生全員にタッチパネル操作可能なノートパソコンの所持を義務づけていますので、入学される方には、入学時に本学部が指定する性能を満たすタッチパネル操作可能なノートパソコンを準備していただきます。タッチパネル操作可能なノートパソコンの仕様等については、入学手続案内【2 月】の送付の際にご案内します。

なお、既にタッチパネル操作可能なノートパソコンをお持ちの方については、必要な仕様の整備を各自で行っていただきます。

3. 医学部医学科（長野県内枠推薦入試）

(<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/>)

(1) 入学者受入れの方針

本学科では次のような学生を求めています。

1. 医師となる明確な目的意識を持っている
2. 大学入学前の高等学校の課程等を能動的に幅広く学び、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語で学習したことを身につけ、医学を学んでゆくに当たって必要な基礎学力がある
3. 医師となるのにふさわしい協調性、決断力、積極性を持っている
4. 病める人を救う情熱、思いやりと奉仕の心、倫理観を持っている
5. 将来の人類のために創造的な医学研究を志向するに必要な思考力・判断力の素養と探究心を持っている

本学科では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、以下の入学試験を実施します。

【推薦入試Ⅱ（センター試験を課す入試）】

推薦入試Ⅱでは、2に対しては「高等学校の学習成績概評が㊤又はA段階」を出願の条件とし大学入試センター試験で国語、地理歴史・公民、数学、理科、英語を課し、1と3～5に対しては面接を課します。さらに、提出書類の内容などを加えて総合的に可否を判定します。

【一般入試（前期日程）】（略）、【私費外国人留学生入試】（略）

《大学入学までに履修すべき教科・科目など》

入学後の学びを円滑に進めるためには、高等学校等では以下の教科・科目の学力を十分に身につけていることが望まれます。また、高等学校等での特別活動や課外活動を通じて、自主的、協調的な態度や、思いやりと奉仕の心を育むことも強く望みます。

国語	十分な読解力、思考力、表現力、会話能力
地理歴史 公民	刻々と変化していく社会情勢に対応していくための基礎知識と社会的素養
数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bについての十分な知識・技能と数学的思考
理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から3科目以上、及び物理、化学、生物、地学から2科目以上についての知識と科学的な思考力
英語	十分な読解力、表現力、会話能力

(2) 趣旨・出願資格及び推薦要件

地域とともに歩む信州大学は、地域医療を背負う医師の育成を、地方自治体と協力しつつ推し進めることを使命のひとつとしています。

信州大学医学部医学科では、将来の長野県の医療を支える医師となることを決意した方を対象に「長野県内枠推薦入試制度」を平成17年4月入学者から実施しております。

また、長野県では、長野県の地域医療等に従事するという強い意志を持った学生が「長野県医学生修学資金」の貸与を希望した場合には、入学後、選考のうえ最大10名に優先的に貸与されます。

平成30年度大学入試センター試験を受験し、次の①又は②に該当し、長野県の医療を支える医師となる強い意志を持ち、人物が優秀で、高等学校の学習成績概評が㊤又はA段階に属し、学校長が責任を持って推薦できる方で、合格した場合に入学することを確約できる方とします。

推薦要件①

長野県内にある高等学校を平成30年3月31日までに卒業見込みの方（平成29年4月以降に高等学校を卒業した方を含みます。）

各高等学校からの推薦は、原則として4名以内とします。

ただし、前年度推薦要件①で合格者が4名以上いた高等学校は、5名まで推薦することができます。

推薦要件②

長野県内にある高等学校を平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までに卒業した方
各高等学校からの推薦は、原則として 2 名以内とします。

ただし、前年度推薦要件②で合格者が 2 名以上いた高等学校は、3 名まで推薦することができます。

(3) 募集人員

学科	推薦要件	入学定員	募集人員
医学科	①	115	15
	②		5
計		115	20

(4) 選抜方法

個別学力検査を免除し、大学入試センター試験の成績、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書）及び面接の結果を総合して行います。

(5) 大学入試センター試験の受験を要する教科、科目等

平成 30 年度大学入試センター試験において、本学部（学科）が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は、推薦入試を受験しても合格者とはなりません。

下表の受験科目を志願者自身でチェックして、本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで、出願するようにしてください。

教科	出題科目	受験を要する科目等	確認欄
国語	「国語」	左欄の科目	
地理歴史	「世界史 B」, 「日本史 B」, 「地理 B」	左欄から 1 科目 (2 科目受験した場合は、 第 1 解答科目を利用します。)	
公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」		
数学	「数学 I ・数学 A」	左欄の科目	
	「数学 II ・数学 B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左欄から 1 科目	
理科	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」	左欄から 2 科目	
外国語	「英語」	左欄の科目	

※ 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方に限ります。

※ 「英語」はリスニングを課します。

(6) 大学入試センター試験の配点

大学入試センター試験						
国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	合計
200	*100	*100	200	200	200	900

- ※ 「地理歴史」及び「公民」から2科目受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。
- ※ 英語は筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算して利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記試験（200点満点）の得点をそのまま利用します。
- ※ 配点に＊印を付してある教科は選択教科を表します。

（7）採点・評価基準

大学入試センター試験の成績並びに調査書、推薦書、志願理由書及び面接の結果を総合して行います。なお、勉学意欲と医学への動機付けがあり、医学科が求めている人物である者を総合的に評価します。

（8）合否判定基準

大学入試センター試験の成績、調査書、推薦書、志願理由書及び面接の結果を総合して判定します。

ただし、大学入試センター試験の成績が、本学の定める基準（合計点900満点の80%）以上であった者から合格者を決定します。

また、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

（9）選抜期日及び時間

期 日	学科	試 験 科 目
		面 接
平成29年12月8日（金）	医学科	9:00～

- ※ 受験の際は、受験票を必ず持参してください。

（10）長野県医学生修学資金

① 対象者

将来、医師として長野県内の公立・公的病院等に従事する意欲のある大学生（推薦入学者最大10名が優先されます。）を対象とします。

一般入試で入学される方も長野県医学生修学資金に応募することができます。

② 貸与金額

月額 20万円

③ 貸与期間

貸与決定の月から大学卒業の月まで

④ 返済免除について

県が指定する医療機関における業務に、貸与期間の1.5倍に相当する期間従事すること。

- ※ 長野県医療修学資金の詳細については、次の連絡先に、問い合わせてください。

長野県 健康福祉部 医療推進課 医師確保対策室
住 所：〒380-8570 長野市大字南長野字幅下 692-2
電 話：026-235-7144（直通）
F A X：026-223-7106

（11）その他

出願については3～7ページ、試験場については38～39ページ、合格者の発表については8ページ、入学手続については8～9ページを参照してください。

4. 医学部保健学科 看護学専攻，検査技術科学専攻，作業療法学専攻 (推薦入試Ⅰ(大学入試センター試験を課さない推薦入試)) (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/>)

(1) 入学者受入れの方針

保健学科は，専門性の異なる看護学専攻，検査技術科学専攻，理学療法学専攻，作業療法学専攻で構成され，豊かな人間性，広い学問的視野と課題探究能力を身につけた高度な保健・医療の専門職者や保健学研究者を育成することで，保健学の教育・研究と保健・医療活動を発展させ，地域貢献を果たすことを目標にしています。このため，保健学科では，卒業時における学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に到達可能な入学者を受け入れることを目的として，次のような学生を求めています。

1. 社会に対し積極的に関わり，”人”に深い関心と思いやりの心を持ち，保健・医療分野の専門職としての役割を果たそうとする明確な目的意識と高い倫理観を持っている
2. 大学入学前の高等学校の課程等を能動的に幅広く学び，国語，地理歴史，公民，数学，理科，外国語で学習したことを身につけ，保健学科で専門分野を学んでゆくにあたって必要な基礎学力と論理的思考力がある
3. 絶え間なく進歩する科学を保健・医療に適用していくための判断力・思考力・表現力の素養と国際的視野を持っている

本学科では，上記の素養を持つ学生を選抜するために，次のような入学試験を実施します。

【推薦入試Ⅰ(センター試験を課さない入試)】

推薦入試Ⅰでは，「面接」での本学科の教員との対話を通じて1～3を評価し，「調査書」等の提出書類の内容を総合して評価します。これに加えて，一部専攻では「小論文」によって1～3を評価します。

【一般入試(前期日程)】(略)，【一般入試(後期日程)】(略)，【推薦入試Ⅱ(センター試験を課す入試)】(24ページ参照)，【私費外国人留学生入試】(略)，【社会人入試】(略)，【第3年次編入学入試】(略)

《保健学科に入学するまでに学んできてほしいこと》

保健・医療領域における専門職者の役割は，拡大し，多様化してきました。保健・医療専門職者には，人間の命の尊さを真摯に理解し，人を思いやる心を持ち，幅広い基礎知識と応用力，たゆみない探究心により，社会に対しても積極的に関わり役割を果たそうとする意欲を持つことが求められます。このため，保健学科に入学するまでに高等学校等において次のような学力を身につけていることが望まれます。また，高等学校等での特別活動や課外活動を通じて，自主的，協調的な態度や思いやりの心と社会的倫理観を養っておくことが強く望まれます。

国語	基礎的な読解力・表現力・コミュニケーション能力・論理的思考力
地理歴史 公民	刻々と変化していく社会情勢に対応していくための基礎知識と応用力
数学	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学Bの知識と論理的思考方法
理科	物理，化学，生物の基礎的な知識と科学的に探究する姿勢
英語	基礎的な読解力・表現力・コミュニケーション能力・論理的思考力

(2) 出願資格及び推薦要件

次の各号全てに該当し，学校長が責任を持って推薦できる方で，合格した場合に入学することを確約できる方とします。

ただし，各高等学校からの推薦は，看護学専攻・検査技術科学専攻及び作業療法学専攻ともに，各1名とします。

- ① 高等学校を平成30年3月31日までに卒業見込みの方(平成29年4月以降に高等学校を卒業した方を含みます。)
- ② 全体の評定平均値が4.0以上の方
- ③ 学力・人物に優れる方

(3) 募集人員

専 攻	入学定員	募集人員
看 護 学 専 攻	70	10
検 査 技 術 科 学 専 攻	37	5
作 業 療 法 学 専 攻	18	2
計	125	17

(4) 選抜方法

専 攻	選抜方法
看 護 学 専 攻	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、出願書類（調査書、推薦書）、面接及び小論文の結果を総合して行います。
検査技術科学専攻	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、出願書類（調査書、推薦書、志望理由書）及び面接の結果を総合して行います。
作業療法学専攻	入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、出願書類（調査書、推薦書、志望理由書）、面接及び小論文の結果を総合して行います。

(5) 採点・評価基準

専 攻	採点・評価基準
看 護 学 専 攻	専門への意欲・学習意欲・探求意欲・論理的思考・コミュニケーション能力・国際的視点などを総合的に評価します。
検査技術科学専攻	専門への意欲・学習意欲・探求意欲・論理的思考・コミュニケーション能力・自然科学系基礎学力などを総合的に評価します。
作業療法学専攻	専門への意欲・学習意欲・探求意欲・論理的思考・コミュニケーション能力・国際的視点などを総合的に評価します。

(6) 合否判定基準

専 攻	合否判定基準
看 護 学 専 攻	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、出願書類（調査書、推薦書）、面接及び小論文の結果を総合して行います。
検査技術科学専攻	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、出願書類（調査書、推薦書、志望理由書）及び面接の結果を総合して行います。
作業療法学専攻	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、出願書類（調査書、推薦書、志望理由書）、面接及び小論文の結果を総合して行います。

(7) 選抜期日及び時間

期 日	学 科	専 攻	試 験 科 目	
			小 論 文	面 接
平成 29 年 11 月 18 日(土)	保健学科	看 護 学 専 攻	9:30～11:00	12:00～
		検 査 技 術 科 学 専 攻	—	9:00～
		作 業 療 法 学 専 攻	9:30～11:00	12:00～

※ 受験の際は、受験票を必ず持参してください。

(8) その他

出願については 3～7 ページ、試験場については 38～39 ページ、合格者の発表については 8 ページ、入学手続については 8～9 ページを参照してください。

5. 医学部保健学科 理学療法学専攻

(推薦入試Ⅱ(大学入試センター試験を課す推薦入試))

(<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/>)

(1) 入学者受入れの方針

22 ページ「4. 医学部保健学科 (1) 入学者受入れの方針」参照

【推薦入試Ⅱ(センター試験を課す入試)】

推薦入試Ⅱでは、2と3に対しては大学入試センター試験で国語、地理歴史・公民、数学、理科、英語を課すとともに、「面接」での本学科の教員との対話を通じて1～3を評価し、提出書類の内容を総合して評価します。

(2) 出願資格及び推薦要件

次の各号全てに該当し、学校長が責任を持って推薦できる方で、合格した場合に入学することを確認できる方とします。

ただし、各高等学校からの推薦は、1名とします。

- ① 高等学校を平成30年3月31日までに卒業見込みの方(平成29年4月以降に高等学校を卒業した方を含みます。)
- ② 全体の評定平均値が4.0以上の方
- ③ 学力・人物に優れる方

(3) 募集人員

専攻	入学定員	募集人員
理学療法学専攻	18名	2名

(4) 選抜方法

専攻	選抜方法
理学療法学専攻	個別学力検査を免除し、大学センター試験の成績、出願書類(調査書、推薦書、志望理由書)及び面接の結果を総合して行います。

(5) 大学入試センター試験の受験を要する教科、科目等

平成30年度大学入試センター試験において、本学部(学科)が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は、推薦入試を受験しても合格者とはなりません。

下表の受験科目を志願者自身でチェックして、本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで、出願するようにしてください。

教科	出題科目	受験を要する科目等	確認欄
国語	「国語」	左欄の科目	
地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	左欄から1科目 (2科目受験した場合は、 第1解答科目を利用します。)	
公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」		
数学	「数学Ⅰ・数学A」	左欄の科目	
	「数学Ⅱ・数学B」、 「簿記・会計」、「情報関係基礎」	左欄から1科目	
理科	「物理」、「化学」、「生物」	左欄から2科目	
外国語	「英語」	左欄の科目	

- ※ 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方に限ります。
- ※ 「英語」はリスニングを課します。

(6) 大学入試センター試験の配点

大学入試センター試験						
国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	合計
100	*50	*50	200	200	200	750

- ※ 「地理歴史」及び「公民」から2科目受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。
- ※ 英語は筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算して利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記試験（200点満点）の得点をそのまま利用します。
- ※ 配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

(7) 採点・評価基準

専攻	採点・評価基準
理学療法学専攻	専門への意欲・学習意欲・探求意欲・論理的思考・コミュニケーション能力・国際的視点などを総合的に評価します。

(8) 合否判定基準

専攻	合否判定基準
理学療法学専攻	大学入試センター試験の成績、出願書類（調査書、推薦書、志望理由書）及び面接の結果を総合して行います。

(9) 選抜期日及び時間

期日	学科	専攻	試験科目
			面接
平成29年11月18日(土)	保健学科	理学療法学専攻	9:00～

- ※ 受験の際は、受験票を必ず持参してください。

(10) その他

出願については3～7ページ、試験場については38～39ページ、合格者の発表については8ページ、入学手続については8～9ページを参照してください。

5. 工学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/>)

(1) 入学者受入れの方針

信州大学工学部は、豊かな教養と工学の幅広い専門知識を持ち、科学技術と環境保全との調和に深く関心を持って、社会の様々な課題を発見・解決できる工学系高度専門職業人の養成を目標にしています。そのため本学部では次のような素養を備えた学生を求めています。

1. 大学入学前の高等学校の課程等を能動的に幅広く学び、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語で学習したことを身につけている
2. 工学の基礎となる高等学校等で学ぶ数学、物理学、化学、生物学、語学などに優れている
3. 科学や技術に関わるさまざまな現象に興味があり、それらの原理や応用について関心を持つとともに論理的思考力・判断力・表現力等の素養を持ち、これらについて学びたいと考えている
4. 実験や実習、講義、さらには研究に積極的に参加して行動できる
5. 向上心があり、自ら考え行動することができる
6. 工学に関わる技術者、研究者として社会をリードするとともに、その技術と知識をもって社会に貢献する明確な目的意識を持っている
7. 自らの目標を定め、積極的に学ぼうと努力する

上記1～7の素養を持つ学生を幅広く選抜するために、信州大学工学部では以下の入学試験を実施します。

【推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない入試）】

推薦入試Ⅰでは、「面接（口述試問）」で工学部教員との各学科に関連する様々な課題の質疑応答を通じて、1～7に対応した能力等を判定します。さらに、出願書類の内容を加味して総合的に評価します。

【一般入試（前期日程）】（略）、【一般入試（後期日程）】（略）、【帰国子女入試】（略）、【私費外国人留学生入試】（略）、【社会人入試】（略）、【第3年次編入学入試】（略）

《大学入学までに履修すべき教科・科目》

各高等学校等が定める教育課程表に従い、すべての教科・科目について、大学入学後の勉学に支障をきたさない程度に履修していることが望まれます。特に、工学部での授業内容を理解するために不可欠な教科である数学、理科、英語に関しては、下記の科目の内容を理解し、身につけておくことが望まれます。

数	学	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B
理	科	物理基礎，物理，化学基礎，化学
英	語	十分な読解力，表現力，会話能力

(2) 出願資格及び推薦要件

次の各号全てに該当し、学校長が責任を持って推薦できる方で、合格した場合に入学することを確約できる方とします。

なお、学校長が本学部推薦できる人数に制限はありません。

- ① 高等学校を平成28年4月1日から平成30年3月31日までに、卒業した方又は卒業見込みの方
- ② 高等学校の学業成績が優秀な方
- ③ 次のいずれかに該当する方
 - a 高等学校での教科で特に誇れる良い成績の科目がある方
 - b 課外活動などで特に優れた成績を修めた方
 - c 特に誇れる資格がある方
 - d その他、特筆すべき優れた活動をした方

(3) 募集人員

学 科	入学 定員	全学科対象 募集人員	職業教育を主とする学科対象 募集人員
		高等学校の各学科	高等学校の職業教育を主とする 学科（職業専門科目を20単位以上履修させるものとし、その分野は問いません。）
物 質 化 学 科	95	7	1
電子情報システム工学科	170	24	6
水環境・土木工学科	60	7	1
機械システム工学科	100	12	3
建 築 学 科	60	-	1
計	485	50	12

※ 「職業教育を主とする学科」に該当する方が、「全学科対象」募集区分に出願することも可能です。ただし、「全学科対象」と「職業教育を主とする学科対象」の二つの募集区分に重複出願はできません。

(4) 選抜方法

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、出願書類（調査書、推薦書、志望理由書）及び面接（口述試問）の結果を総合して行います。

※ 建築学科は、面接の参考とするためのスケッチを含みます。黒鉛筆（4B）と消しゴム（練りゴム）を試験当日に持参してください。

(5) 採点・評価基準

学 科	採点・評価基準
物 質 化 学 科	学習意欲・積極性・活動性等の人物、勉学や将来への目的意識、英語・化学の基礎学力、面接での表現力を評価します。
電子情報システム工学科	積極性・勉学や将来への目的意識・発想力等の人物と基礎学力を総合して評価します。
水環境・土木工学科	学習意欲、積極性、基礎学力、課外活動、専門への関心の高さを総合して評価します。
機械システム工学科	学習意欲、行動力、発想力・創造力等の人物と理数系基礎学力を総合して評価します。
建 築 学 科	建築への関心の高さ・基礎学力・主体性や積極性を評価します。

(6) 合否判定基準

調査書（評定平均値など）・推薦書・志望理由書・面接（口述試問）の結果を総合して判定します。

特に面接（口述試問）の結果を重視します。

(7) 選抜期日及び時間

期日	学科	試験科目
		面接
平成 29 年 11 月 18 日(土)	全学科	9:00～

※ 受験の際は、受験票を必ず持参してください。

※ 集合時刻は午前 8:40 とします。

※ 終了予定時刻は、志願者が確定次第、信州大学工学部ホームページ上でお知らせします。

(8) その他

- ① 出願については 3～7 ページ，試験場については 38～39 ページ，合格者の発表については 8 ページ，入学手続については 8～9 ページを参照してください。
- ② 特に誇れる活動や資格等があり，それらの活動を証明する資料等を持っている場合は，試験当日の面接時に持参しても良いこととします。出願時には添付しないでください。

7. 農学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/>)

(1) 入学者受入れの方針

信州大学農学部は、生命科学分野の基礎能力と農学分野の応用力を身につけ、持続的社會の創造に貢献する人間性豊かな専門職業人の養成を目標にしています。

そのため本学部では次のような素養を備えた学生を求めています。

1. 大学入学前の高等学校の課程等を能動的に幅広く学び、国語、数学、理科、外国語で学習したことを身につけている
2. 農学の基礎となる高等学校等で学ぶ数学、物理学、化学、生物学、語学などに優れている
3. 生命科学や農林業技術に関わるさまざまな現象に興味があり、それらの原理や応用について関心を持つとともに論理的思考力・判断力・表現力等の素養を持ち、これらについて学びたいと考えている
4. 生命科学や農学分野の実験や実習、講義、課題探求に意欲的に参加できる
5. 自然と人が共生する持続的社會の創造を目指して、社会に貢献する明確な目的意識を持っている

本学部では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、以下の入学試験を実施します。

【推薦入試Ⅰ（センター試験を課さない入試）】

推薦入試Ⅰでは、出願の条件とする「評定平均値 4.0 以上」及び「調査書」で1および2に対応し、「小論文」で2と3に対応した評価を、個別学力検査では「面接」で3～5に対応した評価を行い、「推薦書」および「志望理由書」の内容を加味して総合的に評価します。

【一般入試（前期日程）】（略）、【一般入試（後期日程）】（略）、【帰国子女入試】（略）、【私費外国人留学生入試】（略）、【第3年次編入学入試】（略）

(2) 出願資格及び推薦要件

次の各号全てに該当し、学校長が責任を持って推薦できる方で、合格した場合に入学することを確認できる方とします。

なお、学校長が本学部推薦できる人数に制限はありません。

- ① 高等学校を平成28年4月1日から平成30年3月31日までに、卒業した方又は卒業見込みの方
- ② 全体の評定平均値が4.0以上の方
- ③ 学力、人物が優れ、かつ、志望学科・コースに対して強い関心と学習意欲を持つ方

(3) 募集人員

学 科	コ ー ス	入学定員	募集人員
農 学 生 命 科 学 科	生 命 機 能 科 学 コ ー ス	170	8
	動 物 資 源 生 命 科 学 コ ー ス		8
	植 物 資 源 科 学 コ ー ス		8
	森 林 ・ 環 境 共 生 学 コ ー ス		8
計		170	32

(4) 選抜方法

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、出願書類（調査書、推薦書及び志望理由書）の内容、面接（志望理由書についての質疑を含みます。）及び小論文の結果を総合して行います。

(5) 採点・評価基準

① 小論文

小論文は、与えられた課題を的確に認識する能力，論理的に思考する能力，表現能力及び下記のコース毎の出題内容に関する基礎知識を総合して評価します。

生命機能科学コースでは化学と生物，動物資源生命科学コースでは生物，植物資源科学コースでは生物と農業，森林・環境共生学コースでは理科と農業に関する基礎的内容について，一部に英文を含んだ形で出題します。

② 面接

面接は，学習意欲・将来性・創造性などを総合して評価します。

※ 配点

学科	コース	試験科目配点	
		小論文	面接
農学生命科学科	全コース	200	100

(6) 合否判定基準

小論文，面接の結果及び出願書類の内容を総合して判定します。

(7) 選抜期日及び時間

期 日	学 科	コ ー ス	試 験 科 目	
			小論文	面接
平成 29 年 11 月 18 日(土)	農学生命科学科	全コース	9:30～11:30	13:00～

※ 受験の際は，受験票を必ず持参してください。

※ 集合時刻は午前 9:00 とします。

(8) その他

① 出願については 3～7 ページ，試験場については 38～39 ページ，合格者の発表については 8 ページ，入学手続については 8～9 ページを参照してください。

② 森林・環境共生学コースにおいては，推薦入試で合格した方に対し入学前教育（フォローアップ）を義務づけています。詳細については，合格発表後にお知らせします。

8. 繊維学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/>)

(1) 入学者受入れの方針

繊維学部は衣・食・住の要である“繊維”に根ざした先進的な科学技術を背景として、優れた人格と国際性を有し、未来を創造しうる、広い視野と高い能力を持つ技術者、高度専門職業人、研究者の養成を目標にしています。

繊維学部ではこの目標に基づき、次のような意欲を持った学生を求めています。

1. 大学入学前の高等学校の課程等を能動的に幅広く学び、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語で学習したことを身につけている。
2. 現代の多様な学問分野を融合した学際領域的な科学技術を学ぶことに強い関心を持ち、それらを学ぶために必要な思考力・判断力・表現力の素養を持っている。
3. 日々進化する科学と技術に対応して学び続け、より高い専門的・実践的能力を得ることに明確な目的意識と強い勉学意欲を持っている。
4. 地域社会や国際社会に貢献するために必要な、豊かな教養と人間性を高めようとする意欲を持っている。

繊維学部では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、下記の入学試験を実施します。

【推薦入試Ⅰ（センター試験を課さない入試）】

推薦入試Ⅰでは、「面接の参考にするための基礎学力テスト」で入学後の勉学に必要な基礎学力を判定し、「面接（口頭試問を含む）」で学部の教員との対話を通じて1～4に対応した評価を行い、提出書類（調査書等）の記載事項を加味して総合的に評価します。

【一般入試（前期日程）】（略）、【一般入試（後期日程）】（略）、【帰国子女入試】（略）、【私費外国人留学生入試】（略）、【第3年次編入学入試】（略）

《大学入学までに履修すべき教科・科目》

各高等学校等が定める教育課程表に従い、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語等、履修するすべての教科・科目について、大学入学後の勉学に支障をきたさない程度に履修していることが望めます。特に、繊維学部での授業内容を理解するために不可欠な教科である数学及び理科に関しては、下記の科目の内容を理解していることが望めます。

普通科の場合

学 科	理 科	数 学
先進繊維・感性工学科	物理基礎、物理、化学基礎、化学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、 数学B
機械・ロボット学科	物理基礎、物理	
化学・材料学科	化学基礎、化学、物理基礎、物理	
応用生物科学科	生物基礎、生物、化学基礎、化学	

普通科以外の場合

各高等学校等の教育課程表に従い、履修可能な数学及び理科に関するできるだけ多くの科目

(2) 出願資格及び推薦要件

次の各号全てに該当し、学校長が責任を持って推薦できる方で、合格した場合に入学することを確約できる方とします。

なお、学校長が本学部に推薦できる人数に制限はありません。

- ① 高等学校を平成28年4月1日から平成30年3月31日までに、卒業した方又は卒業見込みの方
- ② 人物及び高等学校の学習成績が優れている方
- ③ 志望する学科の教育目標に合致する強い学習意欲を持つとともに、幅広い基礎学力を有し、繊維学部での学修を経て社会に貢献しようとする強い意志を持つ方

(3) 募集人員

学 科	入学 定員	全学科対象募集人員 高等学校の各学科	職業教育を主とする学科対象募集人員 高等学校の職業教育を主とする学科
先進繊維・感性工学科	65	18	2
機械・ロボット学科	60	6	-
化学・材料学科	105	14	1（工業に関する学科のみ対象）
応用生物科学科	50	12	-
計	280	50	3

※ 「職業教育を主とする学科」に該当する方が、「全学科対象」募集区分に出願することも可能です。ただし、「全学科対象」と「職業教育を主とする学科対象」の二つの募集区分に重複出願はできません。

(4) 選抜方法

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、出願書類（調査書、推薦書）及び次のとおり各学科が指定する試験の結果を総合して行います。

学 科	選 抜 方 法
先進繊維・感性工学科	○ 面接の参考にするための基礎学力テスト：数学・理科（物理又は化学を選択）の基礎的内容 ○ 面接（口頭試問を含みます。）
機械・ロボット学科	○ 面接の参考にするための基礎学力テスト：数学・物理の基礎的内容 ○ 面接（口頭試問を含みます。）
化学・材料学科	○ 面接の参考にするための基礎学力テスト：化学・物理・数学・英語の基礎的内容 ○ 面接（口頭試問を含みます。）
応用生物科学科	○ 面接の参考にするための基礎学力テスト：化学・生物・英語の基礎的内容 ○ 面接（口頭試問を含みます。）

※ 基礎学力テストの出題範囲について

面接の参考にするための基礎学力テストの出題範囲は、高等学校学習指導要領に示されている学習内容のうちの下記の範囲とし、設問は高等学校教科書の章末問題と同程度の水準とします。

教科	科目	出題範囲
数学	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ， 数学A，数学B	全内容
理科	物理基礎，化学基礎， 生物基礎	全内容
	物理	(1)様々な運動，(2)波，(3)電気と磁気
	化学	(1)物質の状態と平衡，(2)物質の変化と平衡， (3)無機物質の性質と利用，(4)有機化合物の性質と利用
	生物	(1)生命現象と物質，(2)生殖と発生，(3)生物の環境応答
英語	コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，英語表現Ⅰ	全内容

(5) 採点・評価基準

学科	採点・評価基準
先進繊維・感性工学科	先進繊維・感性工学科では、繊維製品をはじめとした広範な分野で新しい製品の価値を想像できる技術者の育成と、感性を知り感性を活用することにより人間の視点から新しい製品やサービスをデザインし、幅広い分野で活躍できる人材の育成を目指しており、そのための能力、学力、適性を、面接の参考とするための基礎学力テスト及び面接で総合的に判断します。 基礎学力テストでは、先進繊維・感性工学科で学ぶに際して不可欠な数学と理科（物理又は化学を選択）の学力を確認します。 面接では、高校での履修状況と理解度を確認するための試問を行うとともに志望動機、熱意、コミュニケーション能力などを評価します。

学科	採点・評価基準
機械・ロボット学科	機械・ロボット学科では、機械工学とロボット学を横断的に学び、ものづくりの分野で幅広く活躍できる人材の育成を目指しており、そのための能力、学力、適性を面接の参考にするための基礎学力テスト及び面接で総合的に判断します。 基礎学力テストは機械・ロボット学科で学ぶに際して不可欠な数学と物理の学力を確認します。 面接では、志望動機、熱意、コミュニケーション能力、将来への抱負、課外活動や社会活動などから見た高校生活の充実度などを評価します。なお、面接では高校での履修状況と理解度を確認するための簡単な試問も行います。
化学・材料学科	化学・材料学科では、環境を重視し持続可能な社会実現に向けて幅広く活躍できる化学を基礎とする人材の育成を目指しており、そのための能力、学力、適性を面接の参考にするための基礎学力テスト及び面接で総合的に判断します。 基礎学力テストは化学・材料学科で学ぶに際して不可欠な化学、物理、数学、英語の学力を確認します。 面接では、高校での履修状況と理解度を確認するための試問を行うとともに、志望動機、熱意、コミュニケーション能力、将来への抱負、課外活動や社会活動などから見た高校生活の充実度などを評価します。
応用生物科学科	応用生物科学科では、「DNAから生態系まで」幅広い生命現象について教育と研究を行っています。これらを私たちの生活向上に利用するために、応用生物科学の分野で幅広く活躍できる人材の育成を目指します。そのための能力、学力、適性を面接の参考にするための基礎学力テスト及び面接で総合的に判断します。 基礎学力テストでは応用生物科学科で学ぶに際して不可欠な化学、生物、英語の学力を確認します。 面接では、高校での履修状況と理解度を確認するための試問を行うとともに、志望動機やコミュニケーション能力なども評価します。

(6) 合否判定基準

面接の参考とするための基礎学力テスト、面接を複数の面接・採点員によって点数化し、調査書（評定平均値など）、推薦書の内容を考慮して総合して判定します。

(7) 選抜期日及び時間

期 日	学科	試 験 内 容	
		面接の参考にするための基礎学力テスト	面接
平成 29 年 11 月 18 日(土)	全学科	9:00～	13:00～

※ 受験の際は、受験票を必ず持参してください。

(8) 所属学科とカリキュラム

学 科	入学後のカリキュラム
先進繊維・感性工学科	学科で入試を実施し、2年進級時に学生の希望と1年次の成績により所属コース（先進繊維工学コース、感性工学コース）を決定し、2年次からコース別カリキュラムで学習します。
機械・ロボット学科	学科で入試を実施し、2年進級時に学生の希望と1年次の成績により所属コース（機能機械学コース、バイオエンジニアリングコース）を決定し、2年次からコース別カリキュラムで学習します。
化学・材料学科	学科で入試を実施し、2年進級時に学生の希望と1年次の成績により所属コース（ファイバー材料工学コース、機能高分子学コース、応用分子化学コース）を決定し、2年次からコース別カリキュラムで学習します。
応用生物科学科	学科で入試を実施します。コースへの配属はなく、卒業まで学科のカリキュラムで学習します。

(9) その他

出願については3～7ページ、試験場については38～39ページ、合格者の発表については8ページ、入学手続については8～9ページを参照してください。

Ⅲ 志願票の記入例等

平成 30 年度 信州大学 推薦入試 志願票 (A)

学生募集要項 34 ページの記入例を参照のうえ、太枠内に記入してください。

学生募集要項の表紙裏面に記載されている「個人情報の利用」にご同意の上、出願してください。

志望学部	教 育		学部	受験番号							
				※							
				1	2	3	4	5	6	7	8

出願資格	出身学校													
	長野 都・道 長野県 府・県													
	長野 都・道 長野県 府・県													
	信 州 高等学校 1 2 3 1 2 3 4 5 6 7													
	↑ 課程・学科は該当する番号に○を付してください。													

高等学校等コード※1													
0 0 0 0 0 X													
※1 平成 30 年度大学入試センター試験受験案内のコードを記入													

性 別		生 年 月 日	
男	女	年 号	年 月 日
1	2	H	S 1 1 0 9 0 8
↑ 性別・生年月日の年号 (H 平成, S : 昭和) は該当するものに○を付してください。			

卒業期	
平成 30 年卒業見込	既卒
1	2
↑ 卒業期は該当するものを○で囲んでください。	

フリガナ	シンシュウ タロウ
氏 名 (漢字)	信 州 太 郎

受信場所 (志願者連絡先)	〒 1 2 3 - 4 5 6 7 長野県〇〇市〇〇 1 - 2 - 3	電話	1 2 3 4 - 5 6 - 7 8 9 0
		携帯電話	0 × 0 - 1 2 3 4 - 5 6 7 8

保護者	氏 名	信 州 一 郎
	住所	〒 一 (志願者連絡先と同じ場合は同上と記載) 同 上
	電話	同 上
	携帯電話	0 △ 0 - 1 2 3 4 - 5 6 7 8

< 推薦入試Ⅱ (センター試験を課す推薦入試) に出願する方は志願票 (B) も記入してください。 >

< 以下は、推薦入試Ⅰ (センター試験を課さない推薦入試) に出願する方のみ、記入してください。 >

志望学科・課程	志望コース・専攻 (教育学部, 医学部保健学科, 農学部志願者のみ)	受験学科等コード ※2	区分
学校教育教員養成	現代教育	0 1	3
		67 68	69

↑ 志望する学科等名を記入し記入例を参照して受験学科コードを記入してください。 ※2 受験学科等コードは記入例を参照

▼ 経法学部志願者のみ記載

推薦要件※3					
1.	2.	3.	4.	5.	6.
a	c				

※3 推薦要件は記入例を参照

▼ 工学部, 繊維学部志願者のみ記載

募集区分 (工学部, 繊維学部のみ)	
全学科対象	職業教育を主とする学科対象
70	

<コード表>

学部	学科・コース・専攻	コード
教育	現代教育	01
	野 外 教 育	02
	国 語 教 育	10
	英 語 教 育	11
	社 会 科 教 育	12
	数 学 教 育	13
	理 科 教 育	14
	音 楽 教 育	15
	図画工作・美術教育	16
	保 健 体 育	17
	ものづくり・技術教育	18
	家 庭 科 教 育	19
	特 別 支 援 教 育	20
経法	応 用 経 済 学 科	10
	総 合 法 律 学 科	20
医	保健学科	
	看 護 学	01
	検 査 技 術 科 学	02
工	作業療法学	04
	物 質 化 学 科	10
	電子情報システム工学科	20
	水環境・土木工学科	30
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	40
農	建 築 学 科	50
	農学生命科学科	
	生 命 機 能 科 学	10
	動 物 資 源 生 命 科 学	20
繊維	植 物 資 源 科 学	30
	森 林 ・ 環 境 共 生 学	40
	先 進 繊 維 ・ 感 性 工 学 科	10
	機 械 ・ ロ ボ ッ ト 学 科	20
繊維	化 学 ・ 材 料 学 科	30
	応 用 生 物 科 学 科	40

※ 出願書類等の記入上の注意

- ① 太枠内に楷書でいねいに記入してください。
- ② ※印欄は記入しないでください。
- ③ 黒か青のボールペン又はインクで記入してください。
- ④ 誤って記入した場合は、二重線を引き、余白部分に訂正してください (訂正印は不要)。修正内容が明確に分かるようであれば、文字が記入欄からはみ出てもかまいません。

※ 経法学部の推薦要件について

推薦要件は 16～17 ページの「2. 経法学部 (2) 出願資格及び推薦要件」を確認し、必ず選択してください。

推薦要件を複数選択する場合は、アピールしたい該当項順に、「志願票 A 推薦要件※3」の「1.」から記入してください。

・ a (学業型) ・ b (スポーツ型) ・ c (芸術・文化型) ・ d (資格型) ・ e (社会活動型) ・ f (その他型)

平成 30 年度 信州大学 推薦入試 志願票（B）

＜以下は、推薦入試Ⅱ（センター試験を課す推薦入試）に出願する方のみ、記入してください。＞

志望学部	医	学部	受験番号		※	
フリガナ	シンシュウ タロウ		志望学科（専攻）		受験学科等 コード※1	
氏 名	信州 太郎		保健 (理学療法学)		学科 (専攻)	区分
					0	3
					67	68
					2	
					69	

※1 受験学科等コードは記入例を参照

＜コード表＞

学部	学科・コース・専攻	コード
医	医学科	00
	保健 学科	03

推薦

平成 30 センター試験成績請求票
国公立推薦入試用
貼付欄
(全面のりつけ)

※ 出願する学科が課す大学入試センター試験の教科・科目を、学生募集要項の以下のページで**必ず確認**してください。

- 医学部医学科 20 ページ
○医学部保健学科（理学療法学専攻） 24 ページ

出願する学科が課す大学入試センター試験の教科・科目を受験していますか。

はい ・ いいえ

＜志願票（A）も記入が済んでいることを確認してください。＞

※ 出願書類等の記入上の注意

- ① 太枠内に楷書でていねいに記入してください。
- ② ※印欄は記入しないでください。
- ③ 黒か青のボールペン又はインクで記入してください。
- ④ 誤って記入した場合は、二重線を引き、余白部分に訂正してください（訂正印は不要）。修正内容が明確に分かるようであれば、文字が記入欄からはみ出てもかまいません。
- ⑤ 志願票 B のチェック欄に、**必ずチェック**してください。

IV 出願書類等のダウンロードについて

募集要項及び各学部の出願書類を本学のホームページからダウンロードできます。

ダウンロードした書類の一部はMicrosoft Wordを利用して直接入力することができます。

なお、教育学部、経法学部及び医学部医学科の出願書類には、ダウンロードが必須の書類がありますので、6～7ページの「(3) 出願書類等」を十分ご確認のうえ、必要な書類を揃えてください。

1. 出願書類等のダウンロード方法

出願書類等のダウンロード方法は以下の手順で行ってください。

- ① 信州大学ホームページ (<http://www.shinshu-u.ac.jp/>) へアクセス
- ② 「入試情報」→「入学者選抜試験」→出願する学部・入試のマークをクリック
- ③ 学部名をクリックするとダウンロード開始
- ④ ダウンロードした zip フォルダを右クリックし、「すべてを展開する」を選択し解凍

2. ダウンロード後の注意点等

(1) 動作環境

以下に示す環境以外では、動作を保証しません。

- docx ファイル…Microsoft Word 2010 以降
- pdf ファイル…Adobe Reader 9 以降

(2) 印刷方法

出願書類はA 4 サイズの用紙（両面無地（白）のコピー用紙）に印刷してください。

ただし、教育学部出願書類「活動調書A（美術・工芸制作に関する調書）」及び「活動調書B（資料）（美術・工芸制作に関する調書）」については、A 3 サイズの用紙（両面無地（白）のコピー用紙）に印刷してください。

※ 「受験票等送付用宛名用紙」及び「出願用宛名用紙」は、カラー印刷してください。

※ 志願票、推薦書等、2 ページ以上の出願書類は必ず両面印刷してください。

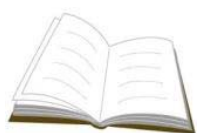
(3) その他

- ① ダウンロードした出願書類のうち docx ファイル（ワープロ用）と pdf ファイル（手書き用）の 2 種類があるものは、どちらかを選択のうえ書類を作成してください。
- ② docx ファイルが用意されていない書類については、pdf ファイルを印刷のうえ、手書きで書類を作成してください。
- ③ OpenOffice や一太郎等、Microsoft Word 以外のワープロソフトを使用すると、書類のレイアウトが崩れる可能性が高くなります。pdf ファイルと比較してレイアウトが著しく異なる場合には、pdf ファイルを印刷のうえ、手書きで書類を作成してください。
- ④ 手書きにより作成する場合は、黒か青のボールペン又はインクを用いて記入してください。
- ⑤ 提出する書類はホチキス留めしないでください。

※ 出願書類の記入方法（手書きによる作成かワープロ等による作成か）が書類審査や可否判定等に影響することはありません。

※ pdf ファイルの閲覧を行うためのソフトは、下記の URL からダウンロード可能です。
(<https://get.adobe.com/jp/reader/>)

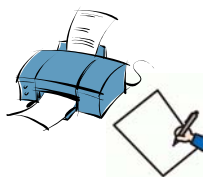
3. ダウンロードを利用する出願までの流れ



(1) 「学生募集要項」の確認

「学生募集要項」を印刷し、出願資格、出願期間、出願書類、選抜方法等を確認してください。

※ ダウンロードする書類以外にも別途必要な書類（調査書、写真等）がありますので、注意してください。



(2) 「出願書類」の印刷と記入

① 出願する学部をクリックしてダウンロードしたフォルダを解凍してください。

② ファイルをそれぞれ **A 4 サイズ（※1）の用紙（両面無地（白）のコピー用紙）** に印刷してください。

※1 教育学部出願書類「活動調書A（美術・工芸制作に関する調書）」及び「活動調書B（資料）（美術・工芸制作に関する調書）」については、**A 3 サイズの用紙**に印刷してください。

※ 志願票、推薦書等、2 ページ以上の出願書類は**必ず両面印刷**してください。

※ 「受験票等送付用宛名用紙」及び「出願用宛名用紙」は、**カラー印刷**してください。

③ 出願書類に必要な事項を記入してください。

④ 長形 3 号封筒（12cm×23.5cm）を各自で用意し、封筒表面に必要な事項を記入した「受験票等送付用宛名用紙」をはがれないようにしっかりと貼り付け、372 円分の切手を貼りつけてください。



(3) 検定料の振込

① 印刷した振込用紙（A 票・B 票・C 票）を用いて、指定された振込期間内に**金融機関（郵便局（ゆうちょ銀行）を除く。）の窓口**で検定料（17,000 円）を「電信扱い」で振り込んでください。

※ A T M, 携帯電話, パソコンからの振込は行わないでください。

② 窓口で【A 票】納付確認書（大学提出用）及び【B 票】領収書（志願者保管用）を受け取ってください。



(4) 出願書類の確認

学生募集要項を参照しながら、出願書類が揃っているか、必要事項が正しく記入されているか、確認してください。



(5) 出願用封筒の準備と封入

① 角形 2 号封筒（24 cm×33.2 cm）を各自で用意し、封筒表面に必要な事項を記入した「出願用宛名用紙」をはがれないようにしっかりと貼り付けてください。

② 貼り付けた宛名用紙の「出願書類チェック欄」により、出願書類を再度確認してください。

③ 出願書類一式を①の封筒に入れ厳封してください。

(6) 郵送等により提出

郵便局の窓口から簡易書留速達郵便で送付してください。

※ 出願は原則として郵送とします。ただし、郵送による出願が難しい場合は、土曜日、日曜日及び祝日を除く平日の 8 時 30 分から 17 時までの持参による出願を受け付けます。

V 各学部試験場案内

各学部とも以下の試験場で実施します。詳細については、受験票に同封してお知らせします。

学部	試験場連絡先・交通案内	試験場略図
経法学部・医学部	松本キャンパス 松本市旭3-1-1 経法学部 Tel 0263-37-3312 医学部医学科 Tel 0263-37-3419 医学部保健学科 Tel 0263-37-2357 ○ JR松本駅「お城口（東口）」を出て右前方松本バスターミナルのりば1の“信大横田循環線”又は“浅間線”に乗車（約15分）、「信州大学前」下車（経法学部は「大学西門」下車）、徒歩2分。	
教育学部	長野（教育）キャンパス 長野市西長野6の口 Tel 026-238-4044 ○ JR長野駅善光寺口4番のりばで、長野市循環バス『ぐるりん号』に乗り（10分）、バス停「信大教育学部前」下車して道路を挟んで正面に長野（教育）キャンパスがあります。（徒歩1分） ○ JR長野駅善光寺口1番のりばで、アルピコバス“善光寺大門行き”“善光寺経由宇木行き”“善光寺・西条経由若槻東条行き”“善光寺・若槻団地経由若槻東条行き”のいずれかに乗車（10分）、「花の小路」下車、徒歩5分。 ○ JR長野駅善光寺口7番のりばで、アルピコバス“県道経由戸隠中社行き”“鬼無里行き”“川後経由滝屋行き”のいずれかに乗車（10分）、バス停「信大教育学部前」下車して道路を挟んで正面に長野（教育）キャンパスがあります。（徒歩1分）	
工学部	長野（工学）キャンパス 長野市若里4-17-1 Tel 026-269-5055 ○ JR長野駅東口から徒歩約20分。 ○ JR長野駅東口21番のりばで、長電バス“日赤線”に乗り（5分）、「信大工学部」で下車、正門まで徒歩2分。 ○ JR長野駅善光寺口2番のりばで、アルピコバス“日赤線経由大塚南行き”“松岡行き”“ビッグハット行き”のいずれかに乗車（8分）、「信大工学部前」下車、正門まで徒歩5分。	

学部	試験場連絡先・交通案内	試験場略図
農学部	伊那キャンパス 長野県上伊那郡南箕輪村 8 3 0 4 TEL 0265-77-1310 ○ 中央道高速バス「中央道伊那インター」又は「伊那インター前」下車、徒歩 12～15 分。 ○ JR 飯田線伊那市駅下車、伊那バスターミナル「伊那営業所」から西箕輪線に乗り（17 分）、「大学入口」下車、徒歩 5 分。 路線バスは本数が少ないので、注意してください。	This map shows the location of Ina Campus (伊那キャンパス) in red. Key features include: - Bus stops: 「中央道伊那インター」, 「伊那インター前」, 「大学入口」, and 「伊那バスターミナル」「伊那営業所」. - Landmarks: 伊那I.C., 伊那中央病院, 伊那市駅, 伊那バスセンター, 伊那運動場, 伊那川, 天竜川. - Directions: 至東京, 至塩尻・松本・長野, 至飯田, 至名古屋, 至木曽.
繊維学部	上田キャンパス 上田市常田 3 - 1 5 - 1 TEL 0268-21-5310 ○ JR・しなの鉄道上田駅お城口から徒歩 20 分。又はタクシーで 5 分。 ○ JR・しなの鉄道上田駅お城口を出てバス停 1 番のりばから千曲バス「佐久上田線勝間行き」「鹿教湯線鹿教湯行き」「武石線巢栗行き」のいずれかに乗り（5 分）、「イオン上田前」下車、徒歩 5 分。 ○ JR・しなの鉄道上田駅お城口を出てバス停 4 番のりばから上田バス「市内循環線 青運行（あおバス）」乗り（5 分）、「イオン上田前」下車、徒歩 5 分。	This map shows the location of Utsunomiya Campus (上田キャンパス) in red. Key features include: - Bus stops: 「イオン上田前」(千曲バス・上田バス) and 1st/4th bus stops at Utsunomiya Station. - Landmarks: 上田郵便局, 上田城跡, 上田市役所, イオン上田ショッピングセンター, 上田駅, 上田電鉄別所線, 千曲川. - Directions: 至長野, 至真田, 至軽井沢, 至松本.

学生募集要項・大学案内等の請求方法

1. インターネットによる請求方法

信州大学のホームページからテレメールを利用して募集要項等の資料請求ができます。
詳しくは、信州大学ホームページ (<http://www.shinshu-u.ac.jp/>) の「入試情報」をご覧ください。
また、下記バーコードを読み取り、テレメールの信州大学資料請求ページに直接アクセスすることができます。(お問合せ先: テレメールカスタマーセンター ☎ 050-8601-0102 (9:30~18:00))

※ 帰国子女入試、社会人入試の学生募集要項はダウンロード配付のみを行っております。(お問合せ先: 下記信州大学学務部入試課)



2. 電話による請求方法

(1) 電話番号 (テレメール)

☎ 050-8601-0101 (24時間受付, 自動音声応答電話)

請求についてのお問い合わせ先 (請求は上記電話番号)

テレメールカスタマーセンター 電話 050-8601-0102 (9:30~18:00)

(2) 請求手順

- ① 希望する資料請求番号 (6桁) をブッシュ又は入力してください。複数の資料を希望する場合には、希望する資料請求番号を続けてブッシュ又は入力してください。

資 料 名	資料請求番号	料金
学生募集要項 (推薦入試)	9 8 5 0 3 6	215 円
学生募集要項 (一般入試) ※1	9 8 5 0 3 3	250 円
信 州 大 学 案 内	9 8 5 0 3 0	215 円
学生募集要項 (一般入試) + 信州大学案内 ※1	9 8 5 0 3 4	250 円

資 料 名	資料請求番号	料金
教 育 学 部 案 内	9 8 5 0 4 0	215 円
経 法 学 部 案 内	9 8 5 0 4 1	120 円
医 学 部 案 内	9 8 5 0 4 3	215 円
工 学 部 案 内	9 8 5 0 4 4	250 円
農 学 部 案 内	9 8 5 0 4 5	215 円
織 維 学 部 案 内	9 8 5 0 4 6	250 円

※1 「学生募集要項 (一般入試)」及び「学生募集要項 (一般入試) + 信州大学案内」は 11 月中旬から配付開始予定です。

- ② お名前・ご住所を、ゆっくりはっきり発音して登録してください。登録された音声の不鮮明な場合は、資料をお届けできないことがあります。(テレメールのパスワードをお持ちの方は登録不要です。)

※ 請求から 1~2 日後に資料が届きます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては 3 日以上かかる場合もあります。1 週間以上経っても届かない場合はテレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。なお、発送開始日以前の請求分は発送開始日に一斉に発送されます。

※ 料金は、お届けする資料に同封されている料金支払用紙の支払方法に従い、表示料金をお支払いください。なお、支払いに際して手数料が別途必要になります。また、料金は資料の重量変更により変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

※ 資料請求終了時及び受付確認メール内で告知される 10 桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。

3. 郵送による請求方法

(1) 請求方法・送料

返信用角形 2 号封筒 (24 cm × 33.2 cm) に請求者の郵便番号、住所、氏名を記載し、送料分の切手を貼り、別の封筒に入れ、各学部の入試事務室又は学務部入試課宛てに請求してください。その際、請求用封筒の裏にも請求者の住所、氏名、電話番号を記載してください。「はがき」による請求には応じられません。また、送料の受取人払いの取り扱いはできませんので、注意してください。

資 料 名	請求用封筒の表書き (封筒左側に朱書き)	送料 (切手代)
学生募集要項 (推薦入試)	「募集要項 (推薦入試) 請求」	215 円
学生募集要項 (一般入試)	「募集要項 (一般入試) 請求」	300 円
信 州 大 学 案 内	「信 州 大 学 案 内 請 求」	215 円
学生募集要項 (一般入試) + 信州大学案内	「募集要項 (一般入試) ・ 信州大学案内請求」	300 円

(2) 請求先

請 求 先	電話番号	住所
経 法 学 部 入 試 事 務 室	0263-37-3312	〒390-8621 松本市旭 3-1-1
医学部医学科入試事務室	0263-37-3419	
医学部保健学科入試事務室	0263-37-2357	
教 育 学 部 入 試 事 務 室	026-238-4044	〒380-8544 長野市西長野 6 のロ
工 学 部 入 試 事 務 室	026-269-5055	〒380-8553 長野市若里 4-17-1
農 学 部 入 試 事 務 室	0265-77-1314	〒399-4598 上伊那郡南箕輪村 8304
織 維 学 部 入 試 事 務 室	0268-21-5304	〒386-8567 上田市常田 3-15-1
学 務 部 入 試 課	0263-37-3450	〒390-8621 松本市旭 3-1-1

※ 電話による問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。(土曜日、日曜日及び祝日を除く 8:30~17:15)

■ この要項に関する問い合わせ先

教育学部入試事務室	〒380-8544 長野市西長野 6 の口	TEL (026) 238-4044
経法学部入試事務室	〒390-8621 松本市旭 3-1-1	TEL (0263) 37-3312
医学部医学科入試事務室	〃	TEL (0263) 37-3419
医学部保健学科入試事務室	〃	TEL (0263) 37-2357
工学部入試事務室	〒380-8553 長野市若里 4-17-1	TEL (026) 269-5055
農学部入試事務室	〒399-4598 上伊那郡南箕輪村 8304	TEL (0265) 77-1310
繊維学部入試事務室	〒386-8567 上田市常田 3-15-1	TEL (0268) 21-5310
学務部入試課	〒390-8621 松本市旭 3-1-1	TEL (0263) 37-2192

■ 信州大学ホームページアドレス <http://www.shinshu-u.ac.jp/>

■ 携帯電話サイトアドレス <http://daigakujc.jp/shinshu-u/>

